

事務事業マネジメントシート (20年度実績と21年度計画)

21年度予算編成後平成 21 年 3 月 20 日 作成
20年度決算把握後平成 21 年 6 月 20 日 作成

事務事業名		商工会育成(運営支援)支援事業			<input type="checkbox"/> マニフェスト関連 <input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連 <input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連			
総合計画体系	政策	3	働く人々が輝き続けるまちづくり		所属部	産業振興部	課長名	米澤俊一
	施策	12	商工業の振興		所属課	商工振興課	担当者名	中嶋繁之
	基本事業	34	生産・販売力の強化		所属班	商工・企業誘致班	(内線)	1253
予算科目		会計	款	項	目	事業連番	<input type="checkbox"/> 20年度で終了 <input type="checkbox"/> 21年度から開始	
		1	7	1	2	10308	成果優先度評価結果 8 コスト削減優先度評価結果 6	
事業期間		<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 平成18 年度)			<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~ 年度)			
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)								
【事業の内容】 中小企業の振興と地域経済の活性化を図るため商工会へ補助金を支出する。 【業務の流れ】 申請書受付、交付決定、支払、実績報告 【主な予算費目】 補助金								

1 現状把握の部(DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標

① 手段(主な活動) 20年度実績(20年度に行った主な活動)(DO) 合志市商工会へ補助金を支出した。	21年度計画(21年度に計画している主な活動)(PLAN) 平成20年度と同様、
② 対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等 合志市商工会	⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)=①の指標 (単位) ア 申請受付、交付決定、支払い、実績報告の処理時間 H イ
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) 商工会の財政が確保できたことにより商工会が行なう経営改善普及事業や地域振興事業をスムーズに運営することができ、市内中小企業の売上げが伸びることで市の	⑥対象指標(対象の大きさを表す指標)=②の指標 (単位) ア 商工会員数 社 イ
④ 上位の目的(さらにどんな目的に結び付けるのか) 経営基盤が確立している。	⑦成果指標(意図の達成度を表す指標)=③の指標 (単位) ア 経営改善普及事業の件数 件 イ 地域振興事業の回数 回
	⑧上位成果指標(上位目的の達成度を表す指標)=④の指標 (単位) ア 工業出荷額 万円 イ 商業売上高 万円

(2) 総事業費・指標等の推移

		単位	18年度 実績(決算)	19年度 実績(決算)	20年度 目標(当初予算)	20年度 実績(決算)	21年度 目標(当初予算)	22年度 (目標)	23年度 (予定)	全体計画 ~ 年度
投入量	事業費	国庫支出金	千円							総 ト ー タ ル コ ス ト (期間 限定 複数 年度 のみ 記載) 0 0 0
		都道府県支出金	千円							
		地方債	千円							
		その他	千円							
		繰入金	千円							
		一般財源	千円	11,716	13,150	15,100	15,100	12,300	12,300	
	(A) 事業費計	千円	11,716	13,150	15,100	15,100	12,300	12,300	12,300	
	うち指定経費	千円								
	うち時間外、特殊勤務手当	千円								
	人件費									
正規職員従事人数	人	4	4	4	3	3	3	3		
延べ業務時間	時間	240	100	80	450	450	450	450		
(B)人件費計	千円	953	398	318	1,791	1,791	1,791	1,791		
トータルコスト(A)+(B)	千円	12,669	13,548	15,418	16,891	14,091	14,091	14,091		
活動指標	ア イ	H	240	100	80	450	450	450	450	
対象指標	ア イ	社	711	706	720	714	720	720	720	
成果指標	ア イ	件 回	6815 46	6865 31	6865 31	8540 40	8540 40	8540 40	8540 40	
上位成果指標	ア イ	万円 万円	28915684 4761816	29505637 5179038	33000000 4742768	33000000 4742768	33000000 4742768	33000000 4742768	22 年度	

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

- ① この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか?
昭和35年5月商工会法の制定に伴い市町村の取組みが始まった。
合志町商工会は昭和36年12月に設立、西合志町商工会は昭和39年7月設立した。平成18年2月27日に合志町と西合志町が合併し合志市となったことを受け、
- ② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?
昭和35年5月商工会法の制定に伴い市町村の取組みが始まった。
合志町商工会は昭和36年12月に設立、西合志町商工会は昭和39年7月設立した。平成18年2月27日に合志町と西合志町が合併し合志市となったことを受け、
両商工会は合併協議会を設立し、平成20年4月1日に両商工会は合併し合志市商工会となった。
- ③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?
平成20年4月1日に両商工会が合併し、合志市商工会となった。より、住民サービス、会員サービスができると思う。
地域の総合的な経済団体として行なう事業を国、県、市から委託されて行なっているようなものであり、その商工会が衰退していくことはあってはならない。

事務事業名	商工会育成(運営支援)支援事業	所属部	産業振興部	所属課	商工振興課
-------	-----------------	-----	-------	-----	-------

2 評価の部(SEE) *原則は20年度の事後評価、ただし複数年度事業は20年度における途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由】 商工会の財政が確保できたことにより商工会が行なう経営改善普及事業及び地域振興事業がスムーズにでき、市内中小企業の売上げが伸びることで、市の税収に繋がるため結びついている。
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由】 商工会事務局が対象であるが、財政基盤の確立により市内中小企業(商工会会員、非会員)の健全運営が図られ、税の増収に繋がるので妥当である。
	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか?意図を限定・拡充すべきか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由】 事業の対象は商工会事務局であるが、実際の支援を受けるものは市内中小企業者(商工会員、非会員)であり、支援を行うことは市の税収に繋がりが適切である。
	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか?	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 合併に伴い、より広域的な商工会の運営と予算の削減の効果が図られる。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?	<input type="checkbox"/> 影響無 ⇒【理由】⇒ 21年度計画(21年度に計画している主な活動)(PLAN) <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 ⇒【その内容】 商工会の財政基盤が確立できず、市内中小企業(商工会員、非会員)の健全運営が図られなくなる。
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか?類似事業との統廃合ができるか?類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか?	<input type="checkbox"/> 他に手段がある ⇒(具体的な手段、事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 他に類似する事務がない。 <input type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】
効 率 性 評 価	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか?(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 商工会が合併したことにより効率化が図られ予算削減が可能となる。
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか?成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか?(アウトソーシングなど)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 補助金交付事務の簡素化や担当者のスキルアップを図る。
公 平 性 評 価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 市内中小企業(商工会員、非会員)の経営健全化が図られることにより、税収が増加し不特定多数の人に利益をもたらすため公平・公正である。

3 評価結果の総括(SEE)

(1) 1次評価者としての評価結果 ① 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ② 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③ 効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ④ 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	(2) 全体総括(振り返り、反省点) ②有効性については、合併に伴い、より広域的な商工会の運営と予算の削減の効果が図られる。 ③効率性については、補助金交付事務の簡素化や担当者のスキルアップを図る。
---	---

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない) 平成20年度に合併したので今後の推移を見守りながら、事務局との連携を蜜に取り、補助金の削減を行なっていく。	(2) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上		○		維持					低下			
				コスト																			
		削減	維持	増加																			
成果	向上		○																				
	維持																						
	低下																						

(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策

平成20年度に合併したので今後の推移を見守りながら、事務局との連携を蜜に取り、補助金の削減を行なっていく。

5 事務事業貢献度評価結果(施策の統括課長の総括)

(1) 目的の直結度	8	(直結度高い 1~3 直結度中 4~6 直結度低い 7~9)
(2) 貢献度	9	(貢献度高い 1~3 貢献度中 4~9 貢献度低い 10~12)